

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52421	幼児と健康 I Health for Early Childhood I	伊藤 智式			1	必修	1前期

**科目の概要**

幼児の発育発達と健康についての理解を深める。また、幼児の興味や関心、能力に応じた遊びを学び、心と体の健康を促す運動や基礎的運動技能習得の過程を理解する。そして、保育者として必要な運動と健康に関する技能を身につけるとともに、子どもの活動に関わる安全管理について学ぶ。この獲得した知識技能を活用して保育現場で課題を解決できる力を身に付ける。そして、これらの学びはディプロマポリシーの②③④⑥に相当する。

学修内容	到達目標
① 幼児の心と体の発育発達と健康について学ぶ。 ② 幼児の能力に応じた運動遊びについて学ぶ。 ③ 幼児の運動技能の習得過程について学ぶ。 ④ 幼児の活動に関する安全管理を学ぶ。	① 幼児の心と体の発育発達と健康について説明することができる。(ディプロマポリシー②③④) ② 幼児の能力に応じた運動遊びを系統的に理解し実践することができる。(ディプロマポリシー③④⑥) ③ 幼児の運動技能の習得過程を説明することができる。(ディプロマポリシー③④) ④ 幼児の活動に関する安全管理の方法を理解し実践することができる。(ディプロマポリシー②③④⑥)

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。
	働きかけ力	グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。
	実行力	幼児の遊びの技能とその指導法を習得できるように粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの活動に関わる安全管理についての問題点を認識できる。
	計画力	授業の予習復習において、計画的に学修を進めることができる。
	創造力	与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。
チームで働く力	発信力	グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。
	傾聴力	他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、建設的な働きかけができる。
	状況把握力	周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。
	規律性	遅刻・無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスの原因を客観的に分析し、これを克服することで、自分が成長できると捉えることができる。

**テキスト及び参考文献**

テキスト：なし。 参考資料を随時配布します。  
 参考文献：「たのしい運動あそび」岩崎洋子著：チャイルド本社。  
 「体育あそび」米谷光弘著：ひかりのくに株式会社。  
 「保育所保育指針」厚生労働省。「幼稚園教育要領」文部科学省。  
 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：幼児と健康Ⅱ、保育内容(健康)、体育実技、体育講義  
 関連する資格：保育士、幼稚園教諭二種免許、レクリエーションインストラクター

**学修上の助言**      **受講生とのルール**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演習で行った内容とその留意点を記録しておくこと。</li> <li>・ 子どもの視点と保育者の視点の両方から考えてほしい。</li> <li>・ 演習実技に対し積極的に取り組んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。</li> <li>・ 課題実技を習得すること。</li> <li>・ 授業態度が悪く、他の学生の迷惑になる学生は退席してもらう。</li> </ul>
---	---

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		20	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
④					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			70	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
	④			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の心と体の発育発達と健康を理解し説明できる。(A)</li> <li>・ 鉄棒・跳び箱・マット運動を修得し、指導ができる。(A)</li> <li>・ 幼児の能力に応じた運動遊びを系統的に理解し実践できる。(S)</li> <li>・ 周囲の状況を考慮し、臨機応変に対応ができる。(S)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業において周囲に配慮した取り組みができ、幼児の運動遊びの技能を習得できている。(C)</li> <li>・ 授業課題に積極的に取り組み、幼児体育の指導法を理解し実践できる。(B)</li> <li>・ 幼児の活動に関する安全管理の方法を理解し実践できる。(B)</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業のねらいや内容、評価について学ぶ。幼児の運動と健康についてのこれまでの研究成果について学ぶ。	講義、演習 配布する資料の他に、クラスルームに資料を提示する。パソコンを利用して考察する。 (以後の授業も同様である)	授業のねらいや内容、評価について理解し説明できる。	幼児の運動と健康について復習する。 (クラスルームに提示された復習資料を利用する。NotbookLMなどのICT(情報通信技術)を活用して、授業内容をまとめる。以後の授業も同様)	45	実行力 課題発見力 傾聴力
2	幼児の基本的な運動と健康のねらいや意義について学ぶ。歩く、走る、飛ぶ、手足の動作、ゲームなどを体得する。	演習、実技 実技についての相互評価	歩く、走る、飛ぶ、手足の動作、ゲームなどを体得できる。	歩く、走る、飛ぶ、手足の動作などを記録し復習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 規律性
3	幼児の基本的な運動と健康のねらいや意義について学ぶ。少人数での運動遊びやゲームの方法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の基本的な体操と少人数での運動遊びやゲームの方法を理解し表現できる。	幼児の体操と少人数での運動遊びの方法を記録し復習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
4	幼児の基本的な運動と健康のねらいや意義について学ぶ。少人数での運動遊びやゲームの様々な方法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の基本的な体操と少人数での運動遊びやゲームの様々な方法を理解し表現できる。	幼児の体操と少人数でのゲームの方法を記録し復習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 規律性
5	幼児の個の動きや遊びを集団に広げていく方法を学ぶ。巧技台、平均台などの器具を使った遊びを体験しその指導法を学ぶ。	演習、実技 グループワーク、実技についての相互評価	巧技台、平均台などの器具を使った遊びを体験しその指導法を理解し表現できる。	器具を使った遊びの指導法を記録し復習する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 状況把握力 規律性
6	マットを使った遊びを体験しその指導法を学ぶ。また、マット運動や鉄棒などの器械運動のメカニズムを学び、どうしたら技能が獲得していただけるのか、その道筋を考える。	演習、実技 グループワーク、実技についての相互評価	マットを使った遊びを体験しその指導法を理解し表現できる。器械運動のメカニズムを学び、どうしたら技能が獲得していただけるのか、その道筋を説明できる。	マットを使った遊びの指導法を記録し復習する。マット運動と鉄棒について各自の課題実技と関連運動を実施する。練習記録をつける。	45	主体性 働きかけ力 実行力 状況把握力 規律性
7	鉄棒、跳び箱、マット運動のメカニズムを学び、その練習法と指導法を修得する。	演習、実技 グループワーク、実技についての相互評価	鉄棒、跳び箱、マット運動についての各自の習熟度を理解し、その練習法を学び、修得できる。	鉄棒、跳び箱、マット運動について各自の課題実技を実施する。練習記録をつける。レポート課題をまとめる。	45	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 状況把握力 規律性
8	幼児の個の動きや遊びを集団に広げていく方法を学ぶ。ものまね遊び、ロープを使った遊びを体験しその指導法を学ぶ。	演習、実技 グループワーク、実技についての相互評価	ものまね遊び、ロープを使った遊びを体験しその指導法を理解し表現できる。	ものまね遊び、ロープを使った遊びの指導法を記録し復習する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	幼児の「ボール」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の「ボール」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を理解し表現できる。	「ボール」を用いた運動遊びの指導法を記録し復習する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
10	幼児の「縄とび、新聞」を用いた運動あそびを体験し、その指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の「縄とび、新聞」を用いた運動あそびを体験し、その指導法を理解し表現できる。	「縄とび、新聞」を用いた運動遊びの指導法を記録し復習する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
11	幼児の「フープ、タスキ、棒」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の「フープ、タスキ、棒」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を理解し表現できる。	「フープ、タスキ、棒」を用いた運動遊びの指導法を記録し復習する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
12	幼児の「玉入れ、マト当て」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	幼児の「玉入れ、マト当て」を用いた運動遊びを体験し、その指導法を理解し表現できる。	「玉入れ、マト当て」を用いた運動遊びの指導法を記録し復習する。	45	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
13	幼児のルールのある遊びを通して、子ども健康に関わる心と体の発達の意義について学ぶ。	演習、実技 グループワーク、実技についての相互評価	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について具体的な遊びを理解し表現できる。	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について復習する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
14	幼児のルールのある遊びを通して、子ども健康に関わる心と体の発達の意義について学ぶ。	演習、実技 グループワーク、実技についての相互評価	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について具体的な遊びを理解し表現できる。	幼児の自由遊びからルールのある遊びへの展開について復習する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
15	授業の中で体験した実技とその理論について、幼児、保育者それぞれの視点か考察する。	演習、実技 グループワーク、実技についての相互評価	授業の中で体験した実技とその理論について、幼児、保育者それぞれの視点に立って考察し説明できる。	幼児、保育者それぞれの視点でこれまでのまとめをする。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52422	幼児と健康Ⅱ Health and Young ChildrenⅡ	伊藤 照美			1	必修	1後期

**科目の概要**

専門職に必要な知識や技能を習得し、体遊び・集団あそびなど動く楽しさを実践し、子どもたちの遊びが豊かにできるように発達段階に応じた指導内容と指導方法を身につける。(DP③)  
 一般的な知識や専門的知識を習得し、人間の基本的要素である身体活動に必要なタイミング、バランス感覚を、最も体得しやすい幼児期に引き出す方法を学習する。(DP②③)  
 また、子どもの発育・発達段階を理解し、健康な心と体を育てるための基本的な運動遊びと保育、及び安全対策について取り組み方や、実技試験における知識と技術を身につけていく。(DP②③)  
 保育に必要な身体活動の必要性を理解し、就職試験や現場で及び地域など様々な場所で活かすことができるようにする。(DP①③)  
 学びの過程で課題を発見し習得した知識を活用し、課題解決できる力を身につける。(DP③④)

学修内容	到達目標
① 幼児の発育・発達段階を理解し、運動と健康の関係について学習する。 ② 幼児の年齢、発達状況に応じた適切な運動・遊びを学習する。 ③ 動く楽しさを理解し、子どもの前で行うイメージをもちながら、遊びを説明できることを目的とする。 ④ 集団あそびを習得し、子どもの前で説明できることを目的とする。 ⑤ 保育者として必要な専門的知識や技術を身に付け、採用試験や保育現場など様々な場面で発揮できる。	① 保育者として必要な一般的な知識や専門的知識を習得し、幼児の発育・発達段階について理解できるようになる。(DP②③) ② 保育者として必要な専門的知識を習得し、発達状況に応じた適切な運動・遊びが理解できるようになる。(DP③) ③ 子どもの前で行っているイメージをもって、様々な場面で実践的に遊びを発表できるようになる。(DP③④) ④ 保育者として必要な専門的知識や技能を習得し、子どもたちと多種の集団あそびが行えるようになる。(DP③) ⑤ 保育者として必要な専門的知識や技術を身に付け、採用試験や保育現場など様々な場面で実践することができる。(DP②③)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	幼児の遊びの技能とその指導法を習得できるように粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	幼児体育の指導法や安全管理についての問題点を認識できる。
	計画力	
	創造力	えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。
チームで働く力	発信力	グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。
	傾聴力	傾聴力 他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席をせず、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト： 特になし。 参考資料を随時配布します。  
 参考文献： 幼稚園教育要領（平成29年3月告示）、保育士指導要領、  
 「たのしい運動あそび」岩崎洋子著：チャイルド本社、「体育あそび」米谷光弘著：ひかりのくに株式会社、  
 「子どもが育つ運動あそび」倉真智子 大森宏一： 株式会社みらい

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連： 幼児と健康Ⅰ、幼児と健康Ⅱ、体育実技、体育講義。  
 関連する資格： 保育士、幼稚園教諭二種、レクリエーションインストラクター

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演習で行った内容とその留意点を記録しておくこと</li> <li>・ 子どもの視点と保育者の視点の両方から考えてほしい。</li> <li>・ 演習実技に対し積極的に取り組んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。</li> <li>・ 課題実技を習得すること。</li> <li>・ 授業態度が悪く、他の学生の迷惑になる学生は退席してもらう</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		30	①		✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学んだ様々な事例から身体表現および集団遊びを検討しレポートにまとめる。</li> <li>・レポート提出において、見やすく記入されているかどうかにより評価する。</li> <li>・導入の仕方、子供への適切な働きかけや助言の仕方、動きを大きく正確にできているか評価する。</li> <li>・発表のための事前準備をレポートをもとにグループで行う。</li> </ul>
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体表現および集団遊びの発表は、一人一種目を考えて、グループのメンバーを動かして発表する。</li> <li>・「採用試験」や「実習などの現場」を想定し、「学校名」や「名前」「対象年齢」「ねらい」と、子どもたちへの「短い導入」を含んだものとする。</li> <li>・「表現力」や「知識・理解」の程度と「取り組む姿勢」「ことば」「動き」「種目内容」を総合的に評価する。</li> </ul>			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<small>(主体性)</small> ・物事を一歩でも前に進めるために、自発的に探し出し積極的に行動することができる。 <small>(実行力)</small> ・グループワークの課題などチームで協力して進め、解決することができる。 <small>(課題発見力)</small> ・実態の的確な把握と分析に基づき問題点を洗い出し、目的・目標達成のために提案できる。 <small>(創造力)</small> ・授業で学ぶだけでなく、課題を自分なりに工夫して解決できる。 <small>(発信力)</small> ・話をする時は、思いついたまま話すのではなく、相手が理解しやすいように考えて話すことができる。 <small>(傾聴力)</small> ・相手の意見や伝えたいことに対して丁寧に耳を傾ける。お互いの考え方や立場等に相違点があったとしても、相手の意見や立場を理解し尊重できる。 <small>(規律性)</small> ・遅刻・無断欠席など学習意欲の欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の運動遊びの技能を数多く習得できている。(A)</li> <li>・幼児の発育発達と運動技能の習得過程について理解した上で、幼児体育の指導を实践できる。(A、S)</li> <li>・周囲の状況を考慮し、臨機応変に対応ができる。(S)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の運動遊びの技能を習得できている。(C)</li> <li>・幼児体育の指導を理解し実践できる。(B)</li> <li>・幼児の活動に関する安全管理の方法を理解し実践できる。(B)</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 子どもの発達と表現の特徴を学ぶ	講義・演習	授業のねらいや内容、評価について理解できるようになる	幼児の発達について予習・復習する	30	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	子ども健康と運動心と体の健康の関連と保育のあり方について学ぶ	講義・演習 実技後 実技についての相互評価 子どもの健康について理解しフィードバックする	授業のねらいや内容、評価について理解できるようになる	歩く, 走る, 飛ぶ, 手足の動作などを予習し, 記録して復習する	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	講義・演習 子どもの健康と運動 子どもの発育・発達の特徴について学ぶ	演習・講義 こどもとコミュニケーションをとるための実践的なあそびをおこなう 実技についての相互評価 子どもの健康と運動について理解しフィードバックする	幼児の基本的な体操と少人数での運動遊びやゲームの方法を理解できるようになる	幼児の体操と少人数での運動遊びの方法を予習し, 記録して復習する	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4	子どもの運動と健康 幼児の運動発達と遊びについて学ぶ	演習 ジャンケンゲームや指あそびなど実践的な遊びを行う 実技後 実技についての相互評価 幼児の運動発達と遊びについて理解しフィードバックする	幼児の基本的な体操と少人数での運動遊びやゲームの方法を理解できるようになる	幼児の体操と少人数でのゲームの方法を予習し, 記録して復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	講義・演習 運動遊びと安全対策 保育者としての遊びを通しての安全管理について学ぶ	演習、実技後 実技についての相互評価 運動遊びと安全対策について理解しフィードバックする	器具を使った遊びを中心に安全管理について理解できるようになる	器具を使った遊びの注意点を予習し, 記録して復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	グループ実践 2.3歳児のふれあいあそび これまで学んだ遊びを対象年齢に合わせ、グループで話し合い構成・練習をする	演習、実技後 パソコンを使用し対象年齢に合ったふれあいあそびを調べる グループワーク、実技についての相互評価 グループ内での意見を聞きフィードバックする	2.3歳児のふれあいあそびを体験しその指導法を理解できるようになる	2.3歳児のふれあいあそびの指導法を予習し, 記録して復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	グループ実践 4.5歳児のふれあいあそび これまで学んだ遊びを対象年齢に合わせ、グループで話し合い構成・練習をする	演習、実技後 グループワーク、実技についての相互評価 グループ内での意見を聞きフィードバックする	4.5歳児のふれあいあそびを体験しその指導法を理解できるようになる	4.5歳児のふれあいあそびの指導法予習し, 記録して復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	身体表現 グループ実践 パラバルーンダンス創作①	演習 グループ分け 課題曲発表 ITCを活用しパラバルーンダンスについてグループで調べる 実技 グループワーク、実技についての相互評価 グループ実践を評価し、フィードバックする	グループの中でアイディアを出し合える	パラバルーンダンスについて調べてくる(予習) 前々までのふれあいあそびを復習しておく(復習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	身体表現 グループ実践 パラバルーンダンス創作②	演習 課題曲に合わせてグループ でアイデアを出し合い意 見交換する 振付を考える 実技後 グループワーク、実技につ いての相互評価 グループ実践の準備状況を 把握しフィードバックする	課題曲からダンスをイ メージして意見交換す ることができる	パラバルーンダンスの 技を考えてくる(予 習) 課題曲の振り付けをイ メージしてくる(復 習)	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	身体表現 グループ実践 パラバルーンダンス③	演習 踊りの技を出し合い振付を 考え完成させる 発表に向けて準備状況を把 握する 実技後 グループワーク、実技につ いての相互評価 グループ実践を評価し フィードバックする	これまでに与えられた 目標が達成されている	全体的な構成を考えて くる(予習) 創作したダンスを復習 する(復習)	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	身体表現 グループ実践 パラバルーンダンス④ 発表会	演習 各グループの発表会 ITC活用として学生によ るビデオ撮影と音響 実技後 グループワーク、実技 についての相互評価 グループ実践を評価し フィードバックする	これまでの創作が全て 完成され発表できる	発表に向けてのイメ ージをしてくる(予習) 発表前のパラバルーン ダンスの確認をする (復習)	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	身体表現 グループ実践 幼児ダンス創作①	演習 グループ決め 課題曲発表(1分程度) ミニ創作活動 発表 実技後 グループワーク、実技につ いての相互評価 準備状況を把握しフィード バックする	グループで討議し動き の種類など出し合い振 付を考えられる	いくつかの動きを考え てくる(予習) これまでに習得したダ ンスを確認してくる (復習)	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	身体表現 グループ実践 幼児ダンス創作②	演習 グループ決め 課題曲発表(1分程度) ミニ創作活動 発表 実技後 グループワーク、実技につ いての相互評価 準備状況を把握しフィード バックする	グループで討議し動き の種類など出し合い振 付を考えられる	いくつかの動きを考え てくる(予習) これまでに習得したダ ンスを確認してくる (復習)	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	身体表現 グループ実践 幼児ダンス創作③	演習 グループ決め 課題曲発表(1分程度) ミニ創作活動 発表 実技後 グループワーク、実技につ いての相互評価 準備状況を把握しフィード バックする	グループで討議し動き の種類など出し合い振 付を考えられる	いくつかの動きを考え てくる(予習) これまでに習得したダ ンスを確認してくる (復習)	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	授業の振り返りとまと め・レポート・自己評 価 発表会の動画視聴(パ ラバルーンダンス・幼 児ダンス①～③)	演習 社会人基礎力およびpisa型学力 について自己評価する 理解確認 幼児と健康についての理解を総 合的に評価しフィードバックす る 幼児、保育者それぞれの視点で これまでのまとめをする レポート作成 11週目の発表会の撮影動画を視 聴し自己評価をまとめる	自分自身の表現力につ いて自己分析ができる 授業の中で体験した実 技とその理論につい て、幼児、保育者それ ぞれの視点に立って考 えることができる	こどもにとって、パラ バルーンダンスの効果 について理解しておく (予習復習) 幼児と健康について理 解できているかを総合 的に評価しフィード バックしておく(予習 復習)	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力